あなたとまちのコミュニケーション情報紙 No.704
朝日町役場 ■〒939-0793 富山県下新川郡朝日町道下1133 ☎0765-83-1100
うみ彦・やま彦・夢産地

広報あさひ

4
2014

思い出は心の中に
笑顔でお別れ
いつまでも忘れないよ

桜町保育所は、62年の歴史に幕を閉じます。
4月1日からは「さくら保育園」として生まれ変わり、
園児たちは新たな一歩を踏み出します。（関連記事2～5ページ）

あさひまち 60 町制施行60周年

—五箇庄コミュニティセンター彩の里・さくら保育園—

待望の新空間が誕生!!

ぬくもりあふれる木の香りと、やさしい光が調和した癒しの空間—。五箇庄地区の中心施設として、また、地区のかけがえのない宝である子どもたちの健全な成長、子育て環境の充実など、たくさんの思いが込められた複合施設が、ついに完成しました。今月号では、施設の名称や特徴などについて紹介します。

五箇庄コミュニティセンター（多目的集会施設と体育館部分）彩の里

【名称の由来】

桜町の白、月山の黄、草野の緑、赤川の赤を各町内のシンボル色と考え、それぞれの町内会が、この先も益々栄え、五箇庄地区が「彩り鮮やかな里」となるようにという願いが込められています。

【施設の特徴】

自治振興会事務所、56帖の広さを持つ研修室、会議室、調理室が整備されています。

自治振興会施設として、また、公民館活動、子どもの居場所づくり事業での活用、高齢者の憩いの場など、多目的に利用できます。さらに、この施設は、地区避難場所と位置付けられていることから、備蓄庫も配備しました。

体育館には、ビーチボールコート3面、ミニバスケットボールコート1面を設置しました。

▲体育館

▲会議室

▲研修室

さくら保育園

【名称の由来】

桜町保育所の伝統を引き継ぐという気持ちを込めて「さくら保育園」としました。また、桜の花びらは5枚と五箇庄地区の「五」を表しており、親しみやすさの気持ちも込められています。

【施設の特徴】

0歳児から5歳児まで定員60人の保育所です。そして、多様な保育ニーズを踏まえ、乳児保育、延長保育、障害児保育も実施します。

▲0歳児保育室

▲保育室（3～5歳）

▲遊戯室

▲トイレ

DATA

建物は木造平屋建てで、多目的集会施設と体育館部分からなる「彩の里」と新保育所の「さくら保育園」を一体的に整備した複合施設となっており、床面積は1,631平方㍍です。

施設の大きな特徴として、朝日町産材および県産材の利用を促進する目的で、柱材や壁仕上げ材などに朝日産および県産の杉材をふんだんに使用し、地場産材活用を大いに発信する施設となっています。

五箇庄地区のシンボルとして新たな一歩を

旧五箇庄小学校跡地施設として整備を進めてきました「五箇庄コミュニティセンター彩の里」および「さくら保育園」が完成し、3月22日、現地で竣工式が行われました。

はじめに、脇町長や桜町保育所の園児代表など7人によるテープカットが行われました。

式では、脇町長が「この施設が、地域の子どもたちから高齢者まで、ふれあいや安全・安心をつなぐ場となることを願っています」と挨拶し、水島議会議長、鹿熊県議が祝辞を述べました。

その後、桜町保育所園児による遊戯や歌、草野獅子舞保存会による獅子舞で新施設の完成を祝しました。

また、22日、23日の両日にわたり、施設内覧会も行われ、大勢の来場者が真新しい施設を見学しました。

この施設は、4月1日よりオープンします。

草野獅子舞保存会による獅子舞

年長組さんによる遊戯

テープカット

新施設の間取りを紹介します!!

■五箇庄コミュニティセンター彩の里
TEL・FAX：82-0710

■さくら保育園
TEL・FAX：82-0329

■所在地：朝日町月山400番地

INTERVIEW

鈴見直人さん

家族のように過ごせる空間

木のぬくもりと太陽の光がたくさん感じられる保育園ですね。広々とした園内ですが、園児たちがどこにいても目の行き届くつくりになっていて安心して子どもを預けられます。園児全員が家族のように遊び、過ごすことができると思います。

平野大輝くん

早く遊びたい！

4月から小学2年生になります。今までは、学校が終わったあと、おばあちゃんと過ごしていたけど、これからは学校の友だちとここで遊べるので、とても楽しみ。早くみんなで遊びたいな。

五箇庄地区住民の方

心が和む施設

温かみがあり、子どもたちにも優しく、とてもいい施設。木の香りがすごくして、心が和みます。敬老会や地区の集まりで利用したいと思います。

①～③真新しい施設を見学する来場者
④五箇庄小学校の校旗と校歌を懐かしそうに眺める来場者
⑤忠魂碑の前で入魂式をする地区の役員の皆さん

地域に根ざした取り組みを

五箇庄地区自治振興会
会長　窪田　寛さん

諸先輩方が長きにわたり築いてこられたものが、地区のシンボルとなり、新たな一歩を踏み出していくことに、期待と不安が入り混じっています。今後、このすばらしい施設に五箇庄地区の魂を入れていく取り組みを行っていきたいと思います。

新施設では、「子どもの居場所づくり」や「高齢者へのふれあいの場の提供」など、地区住民のニーズに応えることができるような施策を展開していきます。

子どもの居場所づくりについては、週3回（放課後～6時）を予定しており、地区の宝である子どもたちの教育の一助となればと考えています。

全てが初めてのことでありますが、暗中模索、試行錯誤しながらも地域に根ざした取り組みができるよう努めていきたいと思っています。

五箇庄地区住民が、育ち、学び、ふれあう地域のコミュニティ拠点として、大いに活用していただきたいと思います。

感謝の心を持って利用してほしい

旧五箇庄地区自治振興会小学校問題監理委員会
会長　佐渡　昭夫さん

待ち望んでいた施設がこのたび完成し、無事オープンすることができました。

地域の皆さんはもとより、すべての町民の皆さんがこの施設を後世にわたり大事に、そして有効に利活用していただきたいと思います。また、この施設の完成を契機とし、五箇庄地区が朝日町発展の一助となるよう成長してほしいです。

一方で、私にとって施設完成までの道のりは長く、とても大変なものでありました。

五箇庄地区自治振興会会長として、128年という長い伝統と歴史を誇る五箇庄小学校の歴史に、幕を下ろすことを決断したことは、今でも心に残っています。また、跡地の利活用については、小学校問題監理委員会の会長として、地区住民や町などと幾度となく協議をしてきました。

多くの苦労はありましたが、今日を迎えることができ、大変喜ばしく思っています。

朝日町の平成26年度　予算が決まりました

一般会計予算　80億6,181万円

■平成26年度一般会計当初予算歳出（性質別）

■平成26年度一般会計当初予算歳出（目的別）

■平成26年度一般会計当初予算歳入

※（　）書きは構成比　※［　］書きは前年度比

予算概要

平成26年度の予算は、健全な財政運営を持続することを基本としつつ、各地区自治振興会や、町民の方々からお聴きした、さまざまなご意見やご提言、アイディアを盛り込むとともに、当町にとって喫緊の課題である少子高齢化問題に対応するため、「教育・子育てするなら朝日町、高齢者にやさしい朝日町」を念頭に作成した予算となっています。

予算規模

平成26年度一般会計の総額は、前年度比12・1％増の80億6,181万円です。

また、病院事業会計を含む特別会計総額は、74億5,495万円で前年度比8・5％の増となり、一般会計と特別会計を合わせた予算総額は、前年度比10・3％増の155億1,676万円です。

歳入（一般会計）

自主財源である税収入は、就労人口の減少に伴い伸びは見込めず、前年度比1・1％減の15億994万円を計上しています。

なお、依存財源である地方交付税については、過去の実績に基づき、前年度に比べ2億円増額の25億円を計上しています。

借入金である町債は、交付税措置のある有利な地方債である過疎対策事業債を大型建設事業に活用していますが、後年度の財政負担も考慮したうえで総額で15億420万円としています。

財政調整基金などの取崩しは、図書館整備事業や五差路周辺複合施設整備事業といった大型事業による歳出の増加のため、前年度比147・6％増の7億8,349万円としています。

歳出（一般会計）

昨今の厳しい財政状況を踏まえ、事務事業の見直しの徹底と、経常的経費の抑制・合理化に努めるとともに、「町民の声と地域の活力が町の発展につながる」という信念のもと、住み続けたい、住むのであれば朝日町の実現に向けて事業の選択と重点化を行いました。

各会計の予算額

☆一般会計総額　80億6,181万円〈　12.1%〉

☆特別会計総額　33億9,044万円〈△ 0.3%〉
- 国民健康保険　15億2,919万円〈△ 0.7%〉
- 後期高齢者医療事業　4億3,055万円〈△ 2.2%〉
- 簡易水道　3,650万円〈△ 6.0%〉
- 下水道　13億9,068万円〈　0.8%〉
- 南保外二地区用水　250万円〈△ 2.2%〉
- 奨学資金　102万円〈　0.0%〉

☆病院事業会計　40億6,451万円〈　17.1%〉
（企業会計）

総　合　計　155億1,676万円〈　10.3%〉

※〈　〉書きは前年度比

■一般会計の推移（当初予算ベース）

主な重点事業は、次のとおりです。

【図書館及び明治記念館整備】

平成26年秋に開館予定となっている新図書館の整備を行うとともに、蔵書、視聴覚資料を充実します。また、完成時には施設に因んだ記念行事を開催します。

【五差路周辺複合施設整備】

昨年度に基本・実施設計、調査等を行った複合施設について、27年度のオープンに向けて今年度着工します。完成した複合施設は、特産品や地場産農産物等の直売、地区への移動販売のほか、自治振興会や地域のイベントといった買い物支援、賑わい創出の拠点として活用します。

【ヒスイ海岸周辺整備構想策定事業】

平成27年3月の北陸新幹線開業を見据え、当町の主要観光地であるヒスイ海岸を中心に、周辺観光資源を利用した魅力ある観光地の実現に向けた観光戦略の方向性を示す「ヒスイ海岸周辺整備構想」を策定します。

【空き家再生等推進事業】

笹川地区の古民家をリニューアルし、人や産業、自然と文化といった地域資源を活用しながら地域に根差した文化・風習が体感できる交流体験拠点施設を整備し、交流人口、定住人口の拡大を図ります。

【町制施行60周年記念事業】

本年8月1日に迎える町制施行60周年の記念として、記念式典や各種イベント、NHK公開番組の収録等を行い、町民の皆さんと記念すべき節目を祝い、楽しめるような事業を展開します。

次頁では第4次朝日町総合計画に沿って平成26年度当初予算の主な事業を紹介します。

第４次朝日町総合計画に沿って 平成26年度当初予算の主な事業を紹介します

★…新規事業

健康と福祉

胃がんリスク判定検査事業	248万円
★子どものインフルエンザワクチン接種費用助成事業	89万円
★高齢者の肺炎球菌ワクチン接種費用助成事業	174万円
★大人の風しんワクチン等予防接種費用助成事業	15万円
★住宅用火災警報器設置支援事業	96万円
★あさひ野っ子放課後児童クラブ事業	889万円
在宅要介護高齢者口腔ケア事業	44万円
★休日保育の実施	234万円

情報と交流

公共バス運行事業	4,086万円
あさひふるさと体験推進事業	373万円
全国ビーチボール競技大会・翡翠カップビーチボール全国大会	402万円
★空き家再生等推進事業	5,889万円
★定住・半定住受入モデル地域育成支援事業	25万円
★空き家コンシェルジュ設置モデル事業	6万円
★釜石市交流・支援事業（釜石市友好交流事業（中学生）、釜石市復興支援ボランティアツアー事業、職員支援派遣事業）	114万円
朝日町合宿・教育旅行推進事業	300万円

産業の振興

五差路周辺複合施設整備事業	77,950万円
★朝日町地域特産物開発・振興事業	100万円
★とやまの園芸規模拡大チャレンジ事業	933万円
★定置網オーナー制度事業	60万円
★内水面観光資源展開事業	5万円
★商店街にぎわい創出事業	200万円
★冬の桜並木創出事業	100万円
★ヒスイ海岸周辺整備基本構想策定事業	454万円
★富山旅づくり市町村タイアップ事業	100万円
★朝日町PR看板等調査業務	397万円

快適な環境

地方道路整備事業（町道殿町細野線・横水下山新線他）	9,200万円
★除雪機械（大型ショベル）の購入	3,270万円
★まちづくり基本調査業務	997万円
既存住宅リフォーム助成事業	2,000万円
定住サポート事業	2,332万円
★町営住宅屋根改修工事	6,500万円
老朽危険家屋等撤去事業	150万円
鳥獣被害対策事業	734万円
★ふるさと歩道七曲り橋・北又つり橋修繕	552万円

教育と文化

図書館及び明治記念館整備事業	47,473万円
★特別支援教育アドバイザー派遣事業	20万円
★整形外科医による脊柱側わん症検診	18万円
子どもと親の相談員配置事業	68万円
中高連携推進事業	250万円
芸術・文化振興事業（文化ホールネットワーク事業・北日本民謡舞踊朝日大会）	1,181万円
地域ぐるみ心の教育推進事業（14歳の挑戦）	43万円
JFAこころのプロジェクト	47万円
特別支援教育支援員配置事業	605万円

住民自治と自治体経営

自治振興会活動支援事業	1,664万円
自治振興会運営費	865万円
自治振興会事務員設置補助	300万円
地域振興施設修繕・改修工事	666万円
★町制施行60周年記念事業	2,062万円
自治公民館建設等事業補助	200万円
★買い物支援対策事業	300万円
★第５次朝日町総合計画策定事業	247万円

安全安心な暮らし

自主防災組織活動補助	315万円
防災士養成事業	20万円
★衛星携帯電話導入事業	38万円
★富山県・朝日町総合防災訓練	35万円
災害に強い子ども育成事業	9万円
★朝日町高齢者運転免許自主返納支援事業	33万円
★小型動力ポンプ付積載車更新	901万円
★防火水そう整備事業	2,686万円
交通安全施設整備事業	1,176万円

クローズアップ予算
～まちのお得な事業情報～

保健衛生

高齢者の肺炎球菌ワクチン接種費用助成事業

高齢者の発症や重症化を防ぐため、肺炎球菌ワクチン接種費用の一部を助成します。

対象者　朝日町に住所を有する
・65歳、70歳、75歳の節目年齢の方
・80歳以上の方
・60歳以上の心臓や腎臓、呼吸器などに重度の障害を有する方
なお、10月からは、65歳以上の節目年齢者などは、法定接種の扱いとなります。

内　容　接種回数：１回まで
自己負担額：2,000円
事業の開始：10月より
町指定医療機関へ接種を委託

問い合わせ　保健センター（☎83-3309）

保健衛生

子どものインフルエンザワクチン接種費用助成事業

インフルエンザは、毎年冬から春にかけて流行します。
子どもの罹患や重症化を防ぐとともに、保育所や小学校での感染防止に備えるため、小学校６年生までのインフルエンザワクチン接種費用の一部を助成します。

対象者　朝日町に住所を有する生後６か月～小学６年生

内　容　接種回数：２回まで
自己負担額：１回につき1,000円
接種期間：10月20日～12月27日
町指定医療機関へ接種を委託

問い合わせ　保健センター（☎83-3309）

市街地・住宅

定住サポート事業【拡充】

核家族化が進み、高齢者のみの世帯が増える中、家族の絆の再生を目的とし、二世帯住宅の新築増築に対する購入奨励金を新設しました。

対　象
・町内在住の方
・親子関係にある方が二世帯型住宅（居室、台所、トイレ等を別にして居住）を新築増築される方
・親が住む同一地区内(自治振興会地区単位)に新築される町内在住者の方

内　容
・同居型　150万円
・別居型（同一地区内に限る）　100万円

問い合わせ　建設課

子育て支援

休日保育事業

保護者の就労形態が多様化してきている中で、日曜日、国民の祝日等における保育需要に対応するため、休日等に保育所(ひまわり幼児園)で児童を保育し、安心して仕事ができる環境を整備し、子育てを支援します。

対象児童　児童福祉法第24条の規定に基づく保育の実施の対象となる就学前児童であって、休日等において保育に欠ける児童

開所日　日曜日、国民の祝日
※ただし、１月１日は除く

開所時間　午前７時～午後６時

問い合わせ　住民・子ども課

防犯・交通安全

朝日町高齢者運転免許証自主返納支援事業

運転免許証を自主的に返納される高齢者を支援します。

対象者　町への申請時、満70歳以上の朝日町民の方
平成26年４月１日以降、すべての種類の運転免許を自主返納された方

支援内容
・①～⑤のいずれか１つ
①すこやか応援券（1,000円券×15枚）
②老人福祉センター回数券(11枚×５セット)
③らくち～の入浴券（シルバー入浴回数券36枚）
④公共バス(あさひまちバス)回数券(11枚×７セット)
⑤パークゴルフ場利用券（年間利用券、発行日から1年間有効）
・写真付き住民基本台帳カード交付手数料相当額の助成
・運転経歴証明書交付手数料相当額の助成

問い合わせ　総務課

商　業

商店街にぎわい創出事業

平成26年秋完成予定の新図書館、平成27年春の五差路周辺施設完成に先がけて、各商店街をはじめ、関係町内会の協力のもと、空き店舗活用やイベントを実施し、賑わい創出の機運醸成を図ります。

対　象　泊１～３区の商店街、関係町内会

内　容
①空き店舗活用（テナントショップ、地区活動など）
②商店街での賑わい創出（イベントの実施）
③「五差路」をテーマとした食の開発
④①～③を活用したまちなかウォーキング等の実施など

問い合わせ　商工観光課

公共交通

公共バス運行事業

利便性の向上・利用促進を図るため、これまでの「公共バス」と「あさひまちバス」を統合・拡充し、新・あさひまちバスとして運行します!!
これにより、高齢者の不安の解消を図るとともに、朝夕はJRの接続を重視し、通勤通学での公共交通の利用を促進します。併せて、人の移動を促すことにより、まちなかの賑わいと交流の創出を目指します。

内　容
使用車両：３台
路 線 数：７方面12路線
運行曜日：月～金　※全路線　平日毎日運行
運行本数：61本（１日）
※詳しくは、本紙折り込みの路線図・時刻表をご覧ください。

問い合わせ　商工観光課

新“あさひまちバス”誕生!!
－平成26年４月７日運行スタート－

特　徴
・朝夕は泊駅でJR列車に接続、日中はパターンダイヤで分かりやすく。
・全路線、平日毎日運行。47本から61本に増便。
・料金は、全区間１回200円（中学生以下は100円）。お得な回数券、１日券、定期券制度も導入。

Asahi-machi Bus
あさひまちバス
“あさひまちバス”に　みんなで乗って、みんなで育てよう♪

その他の重点事業

●子育て支援
【保育料引き下げ】
保育料の引き下げを行い、子どもがいる家庭の経済的負担の軽減を図ります。（住民・子ども課）

●教育
【脊柱側わん症検診】
小学生、中学生を対象に整形外科医による検診を行い、脊柱側わん症の早期発見、治療に努めます。（教育委員会）

●福祉
【住宅用火災警報器設置支援事業】
設置が義務付けられている住宅用火災警報器を一人暮らし高齢者や老々世帯、障害のある方等、設置が困難な世帯に給付・取り付けを行うことで、町民の安心安全な暮らしを守ります。（健康課）

●観光
【冬の桜並木創出事業】
春の風物詩として町内外に知られるようになった、舟川の桜並木にイルミネーションを施すことにより、冬に桜の花を咲かせることで今後の観光振興に繋げます。（商工観光課）

―五差路周辺複合施設整備―

にぎわい・ふれあいの発信拠点に！

町では、新図書館周辺、あさひ福祉センター・体育館周辺、そして五差路周辺の3か所を基盤に、泊市街部を連携させ、新たな賑わいを各地区へと広げるため、泊市街部の活性化を図るとともに、朝日町全体のまちづくりを進めています。

今月号では、五差路周辺複合施設の概要や泊市街部のまちづくりについて紹介します。

買う 集う ふれあう が実現できる施設に！
（商業・にぎわい・ふれあいゾーン）

●賑わい創出
人の流れと循環、にぎわいを取り戻す

笑顔で元気に過ごす！

- 文化活動の場、教養・スキルアップ講座
- 健康増進、体力づくり教室（いきいきサロンの開催）

●商業振興・買い物支援
「気軽に買い物に出かける、買い物を楽しむ」

新鮮な食材をお手軽に！

- 生鮮食品（肉・魚・野菜）、日用品の販売、地場産農産物等直売
- 町の特産品と連動した朝日町ブランドの発信

●ふれあい拠点
「ふれあいの場」および「憩い・集い・繋がりあえる」交流拠点に

- 高齢者が語らい、憩い、集える安らぎ空間の提供
- 農林漁業収穫感謝祭の開催
- 地域のイベント、フリーマーケットなどの開催

地域・世代の垣根を越えた場所に！

- 地区に応じた移動販売、買い物バス運行の実施
- まちなかマルシェ、朝市、昼市、トラック市

要望に応えるための発信拠点に！

Interview

Q．新施設に期待すること…

- 本町五差路周辺が、にぎわっていた頃の活気を取り戻すことができるような施設になることを期待しています。（70代・女性）
- 泊市街部だけでなく、多くの町民の皆さんに利用してもらえるような対策を講じていただき、気軽に利用できるような施設になってほしい。（30代・男性）
- 季節の旬なものや、地場産野菜など、ここでしか買えないものを販売してほしい。（70代・女性）
- にぎわいの中心となるような施設になることを期待しています。（40代・男性）
- 「そこに行けば誰かに出会える」という場所になってほしい。（60代・女性）

【施設概要】

建物は、2階建て、買い物支援施設、ふれあい広場および3団体（商工会・泊地区自治振興会・社会福祉協議会）の事務所を整備されるほか、全天候型のイベント広場が設置されます。

1　階：1,241㎡
2　階：　951㎡
延面積：2,192㎡

五差路周辺複合施設は、平成26年6月頃に着工予定であり、平成27年春の施設供用開始を目指します。

1階
- 買い物支援のための特産品、加工品、生鮮食品、地場産品直売所
- まちなかマルシェや朝市、昼市などが開催できるイベント広場
- 高齢者等のふれあい、語らいの場、バスの待合場所にも利用できるふれあい広場
- 商工会事務所

2階
- 研修室（4室）および会議室（2室）
- 憩い、ふれあい、活動の生きがいを感じてもらうスペースを整備
- 社会福祉協議会
- 泊地区自治振興会事務所

「町の顔」となるような施設に！

急速な少子高齢化の進展などで、疲弊する泊市街部において、複合施設は新たな地域コミュニティの拠点として住民に潤いをもたらしてくれるものであると考えています。これにより、歩いて暮らせる生活環境を整えるとともに、にぎわいの創出など、町の空洞化に歯止めがかかることを期待しています。

また、これからのまちづくりには、そこに住む住民の思いが反映され、いろんな場面でまちづくりに参画していただけるような、住民参加型の施策を講じていくことが必要であると考えています。

泊市街部のにぎわいを生み出すために、まずこの複合施設が中心となり、買い物支援、地域コミュニティの確立などハード面での整備とともに、町、関係団体が住民の目線に立った施策を展開していかなければなりません。

商工会としては、入居する複合施設の新事務所を拠点として、厳しい経営環境にある会員の皆さんの悩み相談や経営支援を行っていくとともに、この複合施設が、商業をはじめ、文化・伝統を集積した「町の顔」となるよう、また、にぎわいを取り戻すことができるよう、力を注いでいきたいと考えています。

Interview

朝日町商工会
会長　**大井裕久**さん

泊市街部再興に向けて

本町五差路周辺は、かつて商店街として賑わい、町の商業振興、交流拠点として栄えていました。

時代の流れとともに、泊市街部の「空洞化」に加え、「買い物の足・生活の足」の確保が困難になってきている中、この複合施設が泊市街部再興への転換点になると考えています。

「買い物を楽しみ、人とふれあい、つながりあえる」という拠点となるような施設を目指していきます。